

---

## 「精巣捻転症術後の精巣の予後予測因子に関する研究」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。  
本研究は、【 埼玉医科大学病院IRB 】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2012年7月1日から2023年12月31日の期間に埼玉医科大学病院 小児外科を受診し、精巣捻転症と診断され、緊急手術を実施した患者さんを対象としています。

#### 2. 研究の目的

精巣捻転症においてどのような患者さんで精巣を温存できなかつたり、温存した精巣が術後に萎縮したりするのかを明らかにし、手術や術後の経過観察に役立てることを目的としています。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2025年12月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2024年3月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

- ・捻転精巣の温存の有無、温存精巣の術後の萎縮の有無
- ・患者背景（患者年齢、左右、既往歴）
- ・症状（睾丸痛、陰嚢腫大・発赤、腹痛、嘔気）
- ・身体所見（陰嚢腫大・発赤、精巣の挙上、精巣挙筋反射の有無）
- ・術前超音波検査所見（精索血管の捻転の有無、精巣実質の不均一なエコー）
- ・術前情報および術中所見（所見発症から手術までの時間、受診から手術までの時間、術前の用手整復の有無、精巣の捻転度数、精巣の色調）
- ・術後情報（術後在院日数、フォローアップ期間）

上記項目のデータは診療記録等を用います。この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院 小児外科において、研究責任者である鈴木 啓介が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

## 2. 試料・情報の取得方法

上記項目のデータは診療記録等を用います。

## 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学病院 小児外科 鈴木 啓介（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学病院 小児外科 田中 裕次郎
- ・ 埼玉医科大学病院 小児外科 関 千寿花
- ・ 埼玉医科大学病院 小児外科 吉田 美奈
- ・ 埼玉医科大学病院 小児外科 合原 巧

## 4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学病院】病院長 篠塚 望

### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 小児外科 鈴木 啓介

住所：〒350-0495埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

電話：049-276-1654（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：suzuki25@sai.tama-med.ac.jp

○研究課題名：精巣捻転症術後の精巣の予後予測因子に関する研究

○研究責任者：埼玉医科大学病院 小児外科 鈴木 啓介